クルメサヨリ（サヨリ科）

学名：*Hyporhamphus intermedius*

別名：ヨド，サイレンボー，ホソクチ，モサヨリなど

大きさ：体長 20 cm

特徴：体は細長く，体側に銀色の縦帯がある。下顎は頭長よりも長く，先端部は黒色。類似種にサヨリがいるが，サヨリの下顎の先端部は朱色であること，その長さは頭長よりも短いことでクルメサヨリと区別できる。

国内の分布：青森県小川原湖と十三湖以南から有明海までの汽水域や内湾，湖沼。

県内の分布：利根川水系，那珂川水系，久慈川，霞ケ浦・北浦など。汽水性の魚であるが，淡水域にも侵入する。霞ケ浦水系に分布するサヨリ科魚類は本種。

県内での生態：産卵期は 5～8 月頃で，水生植物などに産卵する。卵は纏絡糸（てんらくし，シラウオの項を参照）と呼ばれる付着糸で水草などに付着する。餌は動物プランクトンなどを食べるが，未成魚や成魚はチョウバエなど双翅目昆虫類の成虫もよく食べている。

備考：霞ケ浦・北浦では近年，漁獲量は減少しているが，なお各地先で採捕されている。地元の漁業者はすり身団子の材料として，珍重している。環境省のレッドリストでは準絶滅危惧に選定されている。

主な文献：

茨城の淡水動物研究会（1998）霞ヶ浦・北浦の魚類．茨城県自然博物館第 1 次総合調査報告書．茨城県自然博物館．

川那部浩哉・水野信彦編（1989）日本の淡水魚．山と渓谷社，東京．719 pp.

レイモン・アザディ（1983）茨城の淡水魚．筑波書林，土浦．93 pp.

碓井星二・加納光樹・荒山和則・中里亮治（2010）北浦の沿岸帯におけるクルメサヨリ仔稚魚の生息場所利用パターン．日本生物地理学会会報，65: 29-38.

（執筆：岩崎　順．2011 年）